

2019年度 第1回熱処理技術セミナーご案内

— 熱 処 理 基 礎 講 座 —

期 日:2019年5月16日(木)、5月17日(金)
申込締切:2019年5月10日(金)
場所:エッサム神田ホール1号館3階大会議室(定員80名)

本講座は、「強化機構」、「金属の基礎」、「焼入れと焼戻しの基礎」から始まり「耐熱性」、「摩耗特性」、「疲労特性」および「熱処理変形と焼割れ」について、国内の著名な先生方に講演をお願いいたします。

本セミナーは、新入社員教育などを始めとした企業における人材育成にも最適なプログラムになっております。貴社の社員教育にご活用いただければ幸甚に存じます。多数の参加を期待しております。

講義題目及び日程

日 時	講 演 題 目	講 師
5月16日 (木)	9:30～11:30 強化機構と強度 —金属材料が強くなるメカニズムは?—	九州大学 高 木 節 雄
	昼 食	
	12:30～14:30 金属の基礎 —鉄の結晶構造と鉄鋼の組織を理解するための基礎—	九州大学 高 木 節 雄
	14:40～16:10 高温変形の基礎 — —	東京工業大学 寺 田 芳 弘
5月17日 (金)	9:30～11:30 鋼の焼入れと焼戻しの基礎 —鋼の強靱化のための熱処理の本質—	東北大学 古 原 忠
	昼 食	
	12:20～13:45 高硬度鋼の熱処理特性 —転がり軸受用鋼の耐久性と熱処理—	日本精工(株) 飛 鷹 秀 幸
	13:50～15:15 熱処理歪みと焼割れ —金型の熱処理による特性向上と不具合およびその対策—	日立金属(株) 村 崎 拓 哉
	15:20～16:50 金属疲労の基礎と応用 —金属疲労のメカニズムと疲労破壊の防止—	横浜国立大学 高 橋 宏 治

熱処理技術は、鉄鋼材料に限らず非鉄材料にも広く利用されている重要な基盤技術で、目的に応じた熱処理の選択により機械部品・構造物の機能を高めることができます。その熱処理技術の内容も多岐に亘るため、熱処理技術の向上・啓蒙をかねた活動の一環として例年、熱処理技術セミナーを企画しています。2019年度熱処理技術セミナー及び熱処理大学は下記のとおりです。

①第1回熱処理技術セミナー基礎講座2019年5月16日(木)、17日(金)・今回のプログラム

②第2回熱処理技術セミナー応用講座2019年10月10日(木)、11日(金)(予定)

③第3回熱処理技術セミナー応用講座2019年11月21日(木)、22日(金)(予定)

④第4回熱処理技術セミナー応用講座2020年1月23日(木)、24日(金)(予定)

⑤2019年度熱処理大学 2019年7月29日(月)～8月2日(金)

⑥サーモスタディ2019年福岡 2019年9月開催予定

★協賛団体: 日本金属熱処理工業会、(一財)素形材センター、(一社)日本金型工業会、
 (一社)日本塑性加工学会、(一社)日本鉄鋼協会、日本粉末冶金工業会、(一社)日本鍛造協会、
 (一社)日本工業炉協会、(一社)日本鋳鍛鋼会、(一社)表面技術協会、(一社)日本トライボロジー学会、
 (公社)日本鋳造工学会

★ 最新情報・詳細についてはホームページ(<http://www.jsht.or.jp>)をご覧ください。

2019年度第1回熱処理技術セミナー〈熱処理基礎講座〉

期 日：2019年5月16日(木)、17日(金)

場 所：エッサム神田ホール1号館3階大会議室(定員80名)

5月16日(木)		
9:30～11:30	強化機構と強度 －金属材料が強くなるメカニズムは？－	九州大学 高木 節雄
金属の変形機構や強化原理、ならびに基本的な強化機構である固溶強化、転位強化、粒子分散強化、結晶粒微細化強化について、転位論に基づいた理論的な解説を行うとともに、鉄鋼材料を対象として実データを紹介する。		
12:30～14:30	金属の基礎 －鉄の結晶構造と鉄鋼の組織を理解するための基礎－	九州大学 高木 節雄
鉄の結晶構造や加熱・冷却中に起こるその変化を原子レベルで解説し、最終的には、Fe-C二元合金をベースとした鉄鋼材料の組織の成り立ちや組織と力学特性との関係、ならびに合金元素の役割などを解説する。		
14:40～16:10	高温変形の基礎 － ー	東京工業大学 寺田 芳弘
作成中		

5月17日(金)		
9:30～11:30	鋼の焼入れと焼戻しの基礎 －鋼の強靱化のための熱処理の本質－	東北大学 古原 忠
本講義では、鋼の焼入れにより得られるマルテンサイト組織の特徴、焼入れ性を支配する各種の因子について概説する。また、焼入れ後組織と性質を調整するために行う焼戻し時の鋼の組織変化について紹介し、強度－靱性バランスを改善するための基礎について学ぶ。		
12:20～13:45	高硬度鋼の熱処理特性 －転がり軸受用鋼の耐久性と熱処理－	日本精工(株) 飛鷹 秀幸
機械部品の中でも転がり軸受は、構造が単純であるがゆえに、材料熱処理がその機能に大きな影響を及ぼす部品である。 本講義では、軸受の使用限界であるはく離に対する熱処理の影響について解説する。		
13:50～15:15	熱処理歪みと焼割れ －金型の熱処理による特性向上と不具合およびその対策－	日立金属(株) 村崎 拓哉
金型に必要な特性を付与するためには、最適な熱処理が必要である。 本講義では、焼入れ時の冷却速度によって得られる特性の違いや不具合現象について説明し、特性向上と不具合対策について紹介する。		
15:20～16:50	金属疲労の基礎と応用 －金属疲労のメカニズムと疲労破壊の防止－	横浜国立大学 高橋 宏治
金属疲労の基礎知識は、工学技術者にとって非常に重要な知識である。このセミナーでは、疲労き裂の発生と進展のメカニズム、疲労強度に及ぼす各種影響因子、疲労設計の基礎および表面改質による疲労破壊の防止技術等について説明する。		

<エッサム神田ホールアクセスマップ>



エッサム 神田ホール

〒101-0045

東京都千代田区神田鍛冶町3-2-2

TEL : 03-3254-8787

- J R 神田駅 東口 徒歩 1 分
- J R 秋葉原駅 電気街口 徒歩 9 分
- J R 新日本橋駅 4 番出口 徒歩 6 分
- 東京メトロ銀座線 神田駅 3 番出口 徒歩 0 分
- 東京メトロ丸の内線 淡路町駅 A 2 出口 徒歩 8 分
- 都 営 新 宿 線 小川町駅 A 2 出口 徒歩 8 分

2019年度 第1回熱処理技術セミナー申込書

— 熱処理基礎講座 —

2019年 月 日

受講者氏名	勤務先(会社)	所属部署	所在地	連絡先
			住所：〒	☎： FAX： E-mail：
			住所：〒	☎： FAX： E-mail：
			住所：〒	☎： FAX： E-mail：

※参加費：合計 名分(¥ 円), ※請求書：必要 必要な場合は、○で囲んで下さい。

【参加申込者へのお願い】

熱処理技術セミナーの企画に関して、申込者の皆様のご意見を参考にしたいため、下記アンケートへのご協力をよろしくお願い致します。(該当項目に○印)

1. 申し込みの主要動機

- ①会社の方針(社内教育活動の一環など) ②参加経験者からの推薦または指示 ③上長からの推薦または指示
④当協会会誌・HPの情報で判断 ⑤その他()

2. 当セミナーを何で知りましたか？

- ①会誌「熱処理」 ②ホームページ(HP) ③ダイレクトメール(DM) ④他協会・学会の広告・掲示
⑤勤務先・上司からの教示 ⑥その他()

3. 当セミナーの開催希望回数

- ①基礎編1回開催、応用編3回開催 ②基礎編2回開催、応用編2回開催(本年度)
③基礎編3回開催、応用編1回開催

4. 熱処理業界を取り巻く経済環境からの影響

- ①参加への影響あり(不参加, 参加人数, その他) ②参加への影響なし

5. その他ご意見(自由記述)

----- き り と り 線 -----

<主催> 一般社団法人 日本熱処理技術協会

<開催日程> 2019年5月16日(木)

2019年5月17日(金)

<開催場所> エッサム神田ホール 1号館 3階大会議室
〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-2-2
TEL 03-3254-8787

<参加について> 会員優先の申込になります。一般申込者は、
2019年4月26日(金)時点で定員(80人)
に達しない場合にのみ参加申込することができます。

<参加費> 正会員.....36,000円
維持会員(1人につき).....36,000円
・1口の場合1人
・2口以上は適用人数に限りはありません。
一般.....56,000円

<定員> 80名(※定員になり次第、締め切らせていただきます。)

<申込> 申込書に記入の上、下記へお申込み下さい(参加費は別途送金下さい)。

<締切> 2019年5月10日(金) ※定員(80名)になり次第締め切らせていただきます。

現金書留または普通預金口座、みずほ銀行兜町支店(1708319)、りそな銀行日本橋支店(8521911)、
三井住友銀行東京中央支店(3289836)、口座名(社)日本熱処理技術協会に払込み下さい。

<申込先> 一般社団法人 日本熱処理技術協会 E-mail: info@jsht.or.jp
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号(鉄鋼会館6階)
TEL 03-6661-7167, FAX 03-6661-7168

- 注意 (1) 申込書送付・送信後、2～3日以内に申込受理(会員)または受理待ち(非会員)のご案内を返すことにしております。当案内の無い場合、申込書の送付・送信がなされていない可能性がありますので、上記申込先にご連絡下さい。
(2) お送りした受講券は出席の際にご持参下さい。
(3) 参加費は原則2019年5月16日(木)までにお支払い下さい。
(4) 参加費は定員をこえた場合はお返ししますが、受付受講券発行後は取消のお申出があっても返金しかねます。
(5) 請求書の必要な方は申込み用紙の「要」を線で囲んで下さい。



神田駅までの交通アクセス

『羽田空港』から東京モノレールで『品川』まで約17分
『羽田空港』から京急空港線で『品川』まで約23分
JR山手線『品川』から『神田』まで13分
JR山手線『品川』から『神田』まで8分
JR山手線、中央線『東京』から『神田』まで1駅2分